

第2回 六甲山系夙川地域学習ゾーン検討委員会

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成22年2月3日(水) 10:00~12:00
2. 開催場所：西宮市教育委員会 3階大会議室
3. 出席者：

【委員】

宮田 隆夫	神戸大学理学部教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然
三宅 隆三	西宮自然保護協会	自然・郷土史
山本 實	浜脇・エココミュニティー会議	郷土史・地域代表
矢田 力	越木岩自治会 理事	地域代表
前田 俊樹	西宮市環境局 環境緑化部 環境学習推進グループ	
池内 一男	西宮市教育委員会 学校教育グループ 教育相談員	
大下 正和	六甲砂防事務所 副所長	(事務所長の代理)

【事務局】

六甲砂防事務所	星野課長、狩集技官、西山技術員
株式会社エイト日本技術開発	田中、松島、吉川

4. 配付資料

- 議事次第
- 第2回検討委員会資料（資料①~⑤）
- 別冊資料 ○冊子「みんなで語り、伝えよう！夙川物語（案）」
○モデル散策マップ（案）
○サブノート（案）

5. 議 事

1. 開会	・六甲砂防事務所 大下副所長あいさつ
2. 第1回検討委員会 議事要旨	・事務局による説明（資料①）
3. 検討委員会スケジュール及び議題	・事務局による説明（資料②）
4. 冊子の骨子と事前説明時の意見概要について ●意見交換	・事務局による説明（資料③、別冊資料）
5. 散策マップ・サブノートの意見概要について ●意見交換	・事務局による説明（資料④、別冊資料）
6. サイン整備の考え方について ●意見交換	・事務局による説明（資料⑤）
7. 閉会	・六甲砂防事務所 大下副所長あいさつ

<議 事>

●開会 大下副所長のあいさつ

●資料①、② 事務局説明

●資料③ 事務局説明

●質疑応答

(三宅委員)

- ・ 冊子 P.4 のタイムトラベルの約 1,500 万年前のところの説明で、「日本列島が誕生しました」の表現は誤解をまねきやすい。「日本海が形成され、アジア大陸から離れた部分が日本列島となりました」などの表現 (P.6 参照) が適切ではないか。
- ・ P.4 のタイムトラベルの約 400 万年前のところの説明で、「現在の大阪湾のまわりは沈み」は、「現在の大阪湾一帯は沈み」のほうが適切ではないか、まわりが沈んだのではなく、全体が沈んだという解釈でよいと思う。(P.7 も同様)
- ・ P.6 の「甲山の原形の形成」の図で、マグマのなかに上の花こう岩と同じ「+」記号が書かれているが、記号を消すか違う記号にすること。また、この図は P.19 の図④と同じであるが、図④と図①のマグマは別のものなので色や記号の表現を変えること。

(宮田委員長)

- ・ P.4 のタイムトラベルの約 400 万年前「大阪湖の誕生」は、約 300 万年前のほうが妥当ではないかと思われるが、以前の他の川の冊子もこの表現になっている。(事務局と別途相談)
- ・ P.7 のコラムで、「阿蘇山や雲仙岳など…」の前に「現在の」を入れたほうが、誤解をまねかない表現になる。
- ・ P.17 の「平成 21 年 12 月現在…」は、調査が終わっているので表現を検討されたい。

(三宅委員)

- ・ P.20、甲山自然の家の前「捕獲岩」の標本は、目神山から運ばれたものではなく、甲山山腹から落下した岩を運ばれたものである。

(宮田委員長)

- ・ P.20 の捕獲岩 (目神山) の写真を見る限り、捕獲岩と紹介してよいか判断しづらいので、現地で確認したい。

(山本委員)

- ・ P.21 の「刻印群の位置図」で、④岩ヶ平刻印群に刻印石が見られるところとして「苦樂園三番町公園」を紹介してほしい。

(三宅委員)

- ・ P.21 で、大坂城の「坂」の字について、以前はこの字を使っていたというコメントがほしい。
- ・ P.23 の「山くずれの様子」の写真で、オレンジ色の線についての説明があったほうがわかりやすい。

(山本委員)

- ・ P.65 の写真で、タイトルが同じものは違うタイトルにしたほうがよい。

(前田委員)

- ・ P.29 の水車産業に規模の説明で「1 水車に 140 臼から 180 臼を備えたものもあったそうです」の表現があり、規模が大きいことを示していると思うが、140 臼から 180 臼分の能力があったというイメージでよいか。

(山本委員)

- ・ 臼の数を言っている。1つの水車小屋の中に、小さな石臼が 140 個から 180 個並んでいて、水車の回転とともに杵が上下して精米したものである。

(矢田委員)

- ・ P.43 の「新田開発の位置図」に「水分谷」の名称を表示する。
- ・ P.34 のコラムで、最初に植樹されたのはヤシヤブシと記憶しており、追加紹介してはどうか。
- ・ P.58 の名次神社の説明に、万葉集の歌を紹介してはどうか。

(三宅委員)

- ・ P.41 の「ホテルが見られる夙川」の写真あたりはホテルが少ない。この写真の反対側（この写真あたりから北向きに見たところ）にたくさんホテルが見られるので写真を変更されたい。

(矢田委員)

- ・ P.12 の越木岩鉱泉の位置についてのコメントで、現在はないので「松風公園の川向い・・・」ではなく、「越木岩橋の北側あたり」と具体的に書かないほうがよいと思う。

(三宅委員)

- ・ P.70 の写真で位置がわかるものは、()書きで現在の町名を表記したほうがわかりやすい。

●資料④ 事務局説明

●意見交換

(山本委員)

- ・ サブノート P.3 のタイトル「徳川大坂城のふるさと」は、「徳川大坂城の城いしのふるさと」のほうが良いと思う。
- ・ 緑色のマップの裏の「亀石」の刻印の写真は、写真を提供するのでその写真と差し替えされたい。

(三宅委員)

- ・ 水色のマップの表、「⑦満池谷層」の位置を確認のこと。「大社中」の表記が抜けている。また、冊子に甲陽断層上の道路が紹介されているが、このマップにその道路の位置を表記してほしい。
- ・ ピンク色のマップの表、菊池貝類館の位置が違う。

●資料⑤ 事務局説明

●意見交換

(池内委員)

- ・ 本日の資料全体を見て、良い資料ができてきており子どもたちの良い教材になると思うが、今後どう活用されるのかが一番大切なことである。活用については、いろんな団体や協会とパイプをつくり、地域のスペシャリストに協力を願いたいと考えている。
- ・ 子ども全員に配布するとはならないと思うが、印刷部数を検討いただきたい。参考に、市全体で小中学校とも一学年約 5,000 名である。

(宮田委員長)

- ・ そのほか、今後気づいた指摘事項等あれば、事務局まで連絡していただきたい。

●今度の予定について 事務局説明

●閉会 大下副所長のあいさつ